

てんぱく図書館だより 5月号

名古屋市天白図書館 発行日：2025年5月1日 No. 21



日 月 火 水 木 金 土

				1	2	3
4	5	6	7 休館日	8	9 	10
11	12 休館日	13	14 	15 	16 休館日	17
18	19 休館日	20	21 	22 	23 	24
25	26 休館日	27	28 	29	30	31

【開館】平日・土曜日 9:30～19:00 【住所】名古屋市天白区横町701

日曜日・祝日 9:30～17:00

☎：052-803-4188

【休館】月曜日・毎月第3金曜日

Fax：052-803-4190



赤ちゃんからおはなし会(乳幼児向け)
①10:30～10:50 ②11:10～11:30



おはなし会(幼児・低学年向け)
15:30～16:00



おはなしとてづくりの会(幼児・低学年向け)
15:30～16:00 【定員】15組



ドーナツツ♪(0～3歳ちゃんの親子のための会)
10:30～11:15



むかしばなしの会(幼児・小学生向け)
11:00～11:30



コドミル文庫のおはなし会(幼児・小学生向け)
11:00～11:30



発見！香りのふしぎ
14:00～15:00



一般 「てんぱく春のパンまつり」

4月19日(土)～5月15日(木)

春といえば…パンまつり！
今年もあの有名なパンのメーカーのパンまつりが
始まっています。天白図書館でもパンに関する本を
展示してパンまつりを開催します。
抽選のプレゼント企画もありますよ！

『日本全国地元パン』

甲斐 みのり/著

エクスナレッジ

【分類】5966



テーマ展示

児童 「むしたち あつまれ～」

4月19日(土)～5月15日(木)

草むらにいる虫たちは何をしているのかな？
学校や公園でみつけたら観察したり
名前を調べて虫たちと仲良くなろうよ！

『だれだかわかるかい？』

むしのかお』

今森光彦/文・写真

福音館書店

【分類】468



ティーンズ 「新しい出会い」

3月22日(土)～5月15日(木)

新生活が始まるこの季節、
「新しい出会い」をテーマに本を集めました。

新しい人、新しい物…

新しい世界との出会いもあるかも？

『万葉と沙羅』

中江 有里/著

文藝春秋

【分類】小説



大活字本コーナー奥

ミニ展示

「新書大賞」

知識をちょい足しコーナー

3月22日(土)～5月15日(木)

新書大賞(中央公論新社主催)は1年間に刊行され
た新書から「最高の1冊」を選ぶ賞です。

新書大賞2025の受賞作品の紹介とともに
2015～2024年大賞受賞作品を展示します。

『歴史学はこう考える』

松沢 裕作/著

筑摩書房

【分類】201



てんぱくおもちゃ図書館

「てんぱくおもちゃ図書館」はNPO法人つながる子育てにじいろさんで開催されている事業で、今年度からおもちゃ病院とともに天白図書館でも開催することになりました！

たくさんのおもちゃから好きなものを選んで自由に遊び、気に入ったおもちゃは2か月間借りることもできます。初回の4月5日(土)は親子で興味津々といった様子でおはなしの部屋に入り、夢中で遊び、帰りには嬉しそうにおもちゃを借りていく姿が見られました。初めておもちゃ図書館を知ったという方も多く、本と一緒におもちゃも借りて楽しい時間を過ごせたと思います。

次回は6月7日(土)の13時～15時です。ぜひ遊びに来てください。



認知症カフェ

4月3日(木)今年度最初の認知症カフェ「あなたの運転見直しませんか」を開催しました。天白警察署交通課のご協力のもと、ドライブシミュレータ2台を使った運転診断や警察官の方による交通安全講話をしていただきました。運転診断では、参加者が画面に映る道路状況に合わせてブレーキやハンドル操作をし、終了後は警察官の方から個別にアドバイスをいただきました。また、運転に関する相談会もあり、ご自身の運転について見直すよい機会になったと思います。

次回6月5日(木)の認知症カフェは並木病院の理学療法士をお招きして、「認知症予防に役立つ脳トレ」について学びます。



天白月夜祭

3月30日(日)劇団天白月夜さんによる公演「天白月夜祭」を開催しました。劇団天白月夜のみなさんは主に、天白文化小劇場で活動されていますが、今回は初めての天白図書館での公演でした。プログラムはハンドベル演奏や朗読、手話と歌、民話劇など盛りだくさんの内容！天白区の島田地蔵寺に伝わる民話「毛替地蔵」の劇や「くまの子ウーフ」の朗読劇など劇団天白月夜の作りだす世界に大人も子どもも魅了されていました。

劇団天白月夜のみなさま、参加されたみなさま、ありがとうございました。



『絵本とわたしとこどもたち』⑤

kodomiru文庫 イシマル

こんにちは 塩釜神社近くで家庭文庫をしている
kodomiru文庫のイシマルです。

今回は『くんちゃんのはたけしごと』、二色展開とは思えない色鮮やかな印象が残る絵本です。

何度もなんども読んだ絵本で、子どもたちもどれくらい好きかというと、旅先のクマ牧場でクマを見るよりも、『くんちゃんシリーズ』を読む時間の方が長くなるほどでした。子どもたちは大人になった今もくんちゃんに親しみをもち続けています。そしてわたしにとって“親とは”を教えてもらった1冊。

たぶんこの本のくんちゃんはなんでも自分でやりたい時期の3〜4歳頃。畑仕事をしているお父さんの手伝いも失敗ばかり…。雑草に水をあげたり、花を草と間違えて引っこ抜いたり等々…。でもお父さんは決して怒らず“どうしたらいいのか”をその都度教えるのですが、“わたしにはこんな教え方無理”と当時は思ったものです。

くんちゃんは、お父さんがしていることをしばらく見ているうちに、なにをどうすればいいのかをちゃんと理解します。もう間違えません。教えられた通りに“はたけしごと”をこなすくんちゃんに、お父さんは「それでいい。なかなかうまいじゃないか」と誇らしげです。とても嬉しくなったくんちゃんは喜び満面でお母さんに摘んだお花をもっていくのでした。

この本は子どもがやろうとしていることを妨げず怒らずに“教え”、そして待つことと任せることの大切さを教えてくれました。育児書よりも、育児に役立つ絵本だと思います。



『くんちゃんのはたけしごと』

ドロシー・マリノ/さく
間崎 ルリ子/やく
ペンギン社



@kodomiru
Instagram

一般



『すきだらけのビストロ うつくしき一皿』

冬森 灯／著
ポプラ社
【分類】小説

幻のビストロ「つくし」。すてきなものにあふれた
場所で至福のひとつときを。心躍る料理の数々と芸
術に癒される一冊です。

一般



『ライオンのおやつ』

小川 糸／著
ポプラ社
【分類】小説

瀬戸内海にあるホスピス「ライオンの家」では、もう一
度食べたい思い出のおやつをリクエストできる「おや
つの時間」があります。当たり前の日常に感謝するこ
とができる一冊です。

ティーンズ



『E高生の 奇妙な日常』

田丸 雅智／著
角川春樹事務所
【分類】小説

E高は普通とはちょっと変わっている。
数学アレルギーが流行したり、空から埃が降る日もある。
生徒も個性的な子ばかり。そんな普通とは違うE高に
通う高校生の日常を覗いてみませんか？

今月の
おすすめ

おはなし会



『おふろで なんでやねん』

鈴木 翼／文
世界文化社
【分類】絵本

家族で銭湯へ。でもちょっと待って！
おふろのとびらをあげたらハワイだった！？
シャワーからラーメンが出てきた！？
思わず「なんでやねん！」と言いたくなるような
面白い絵本です。

児童



『につぼんのおやつ 写真絵本 おやつ風土機』

白央 篤司／著
理論社
【分類】59

北海道のいも団子、愛知の鬼まんじゅう、長崎の
カステラ…。47都道府県の地元おやつ大集合！
あなたの好きなおやつはありましたか？

ペットボトルキャップ展示

展示期間：5月17日(土)～30日(金) 場所：玄関展示ケース

稲熊顯治氏によって長年蒐集されたペットボトルキャップの一部を展示します。
キャップの様々なデザインを楽しんでみませんか？

？ どんなものが
あるんだろう？



『ペットボトルキャップコレクション 28ミリの円いカンバスに 描かれた小さなアート』

稲熊 顯治／著
【分類】588



スマホをかざすと
天白図書館テーマ
ソングが聞けます。



天白図書館
Instagram